

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

住田町教育委員会「公民館での放課後子ども教室」(岩手県住田町)

取組事業

上有住子ども教室・下有住子ども教室

活動実施場所

上有住地区公民館・下有住地区公民館

取組概要

【子ども教室】

子どもたちが安心して安全に有意義に過ごすことのできる居場所を確保するとともに、地域コミュニティの活性化を目指して実施している。

◎学び教室（常時開設）

宿題・読書・学習プリント等

◎体験教室

滝観洞探検・夕涼み会・川あそび・グラウンドゴルフ大会・カップ大会・お菓子の家づくり・雪あそび・映画観賞会・森のつみ木広場・折り紙教室



下有住子ども教室



上有住子ども教室

事業成果

【子ども教室】

・公民館で開催することで、学習指導者だけでなく、公民館職員も子どもたちを見守ることができるとともに、地域住民とも関わりを持つ機会となっている。
・アンケート調査において、利用児童や保護者の半数以上が、放課後子ども教室に参加して「学習のやり方が分かってきた」「本を読む時間がふえてきた」「学習する時間がふえてきた」「住んでいる地域が好きになってきた」「友達がふえてきた」「地域のつながりが深まった」「関係する大人自身にとってやりがいのある活動だ」と回答をしており、多くの利用者等にとって「有意義な場所」であり、放課後子ども教室の実施が地域コミュニティの活性化にもつながっている。

4～11月の開設回数・利用者数（）は昨年度		
	開設回数	利用児童・生徒数
上有住子ども教室	149(132)17回増	6,866(6,684)182人増
下有住子ども教室	151(132)19回増	732(800)68人減

課題や今後の取組

（課題）

・子ども教室を、子どもたちや保護者、地域にとってより有意義な場所にしていくため、今まで以上に、子どもたちと地域住民が関わりを持てるような事業や体制づくりが必要である。
・しばしば児童の問題行動も見られることから、学習指導者の対処方法等の助言や心理的負担軽減のため心理療法士の訪問を実施しており、今後も継続していく必要がある。